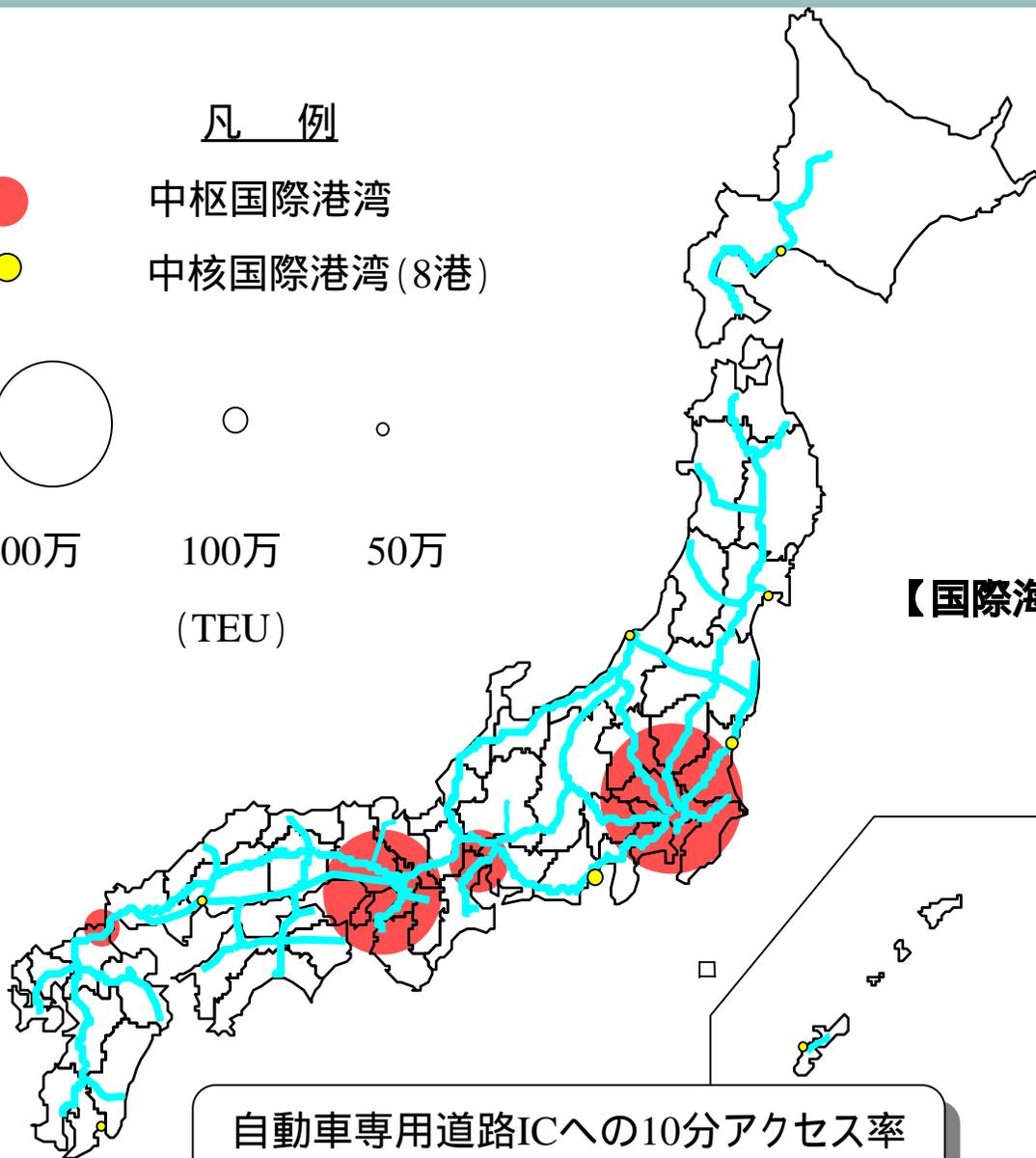
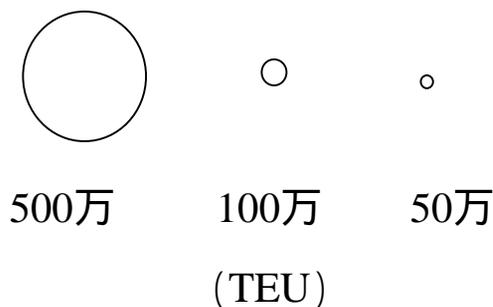


国際水準のコンテナ港湾の適正配置とアクセス性の向上

凡 例

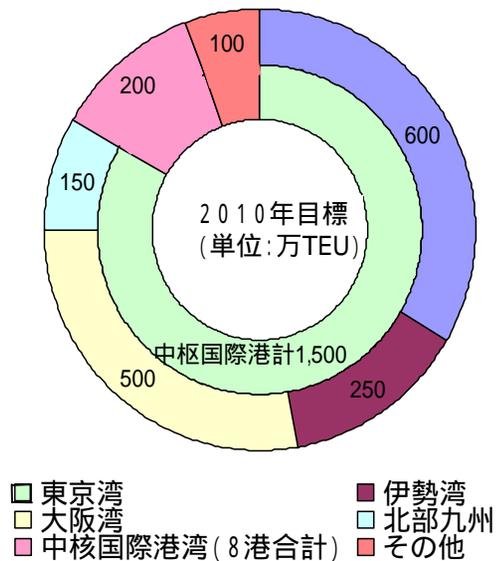
- 中枢国際港湾
- 中核国際港湾(8港)



自動車専用道路ICへの10分アクセス率
89% (現状) 100% (将来)

整備指標	国際コンテナ貨物の陸上輸送費用の削減
現況	1990年代半ばに比べ、約1割削減
長期的目標(H22)	1990年代半ばに比べ、約3割削減

【国際海上コンテナ貨物取り扱い量の見通し】



中枢・中核港湾以外の港湾が占める コンテナ取扱割合

中枢・中核国際港湾の取扱量

12,044千TEU/年【95.2%】

内、海外トランシップ量

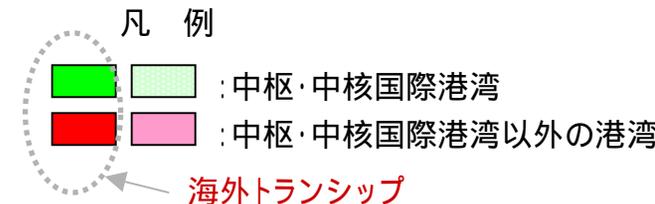
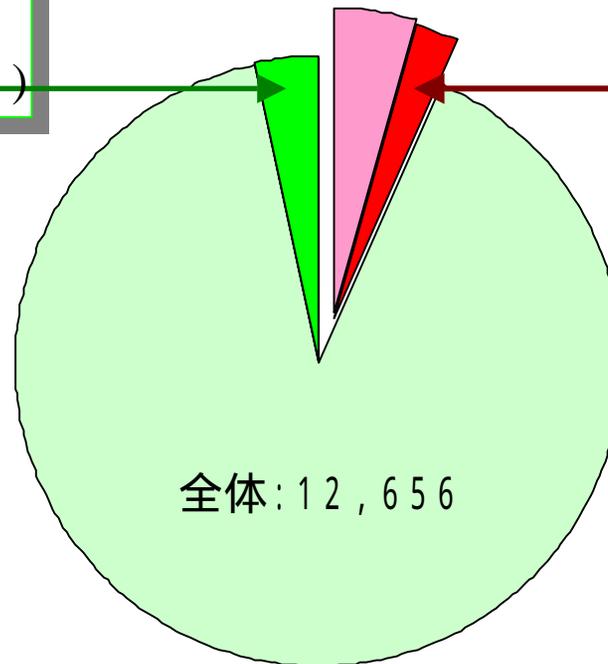
447千TEU/年(3.7%)

中枢・中核国際港湾以外の港湾の取扱量

612千TEU/年【4.8%】

内、海外トランシップ量

269千TEU/年(43.9%)



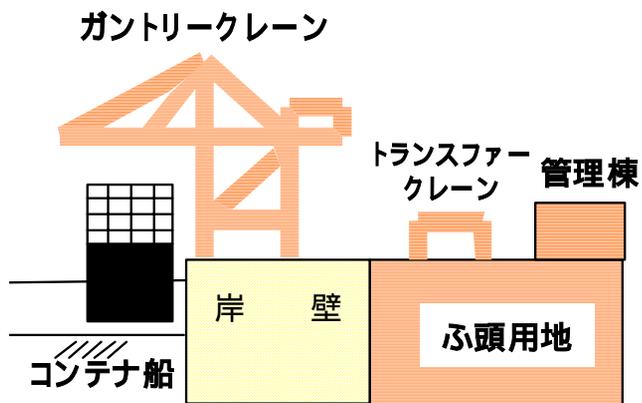
【 】書きは全体取扱量に占める割合

トランシップの()書きはコンテナ流動調査(H10)よりトランシップ率を求め算出

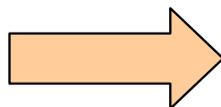
出典：全国輸出入コンテナ貨物流動調査結果及び国土交通省港湾局調べ（2000年速報値）

コンテナターミナル整備へのPFI方式の導入

従来方式

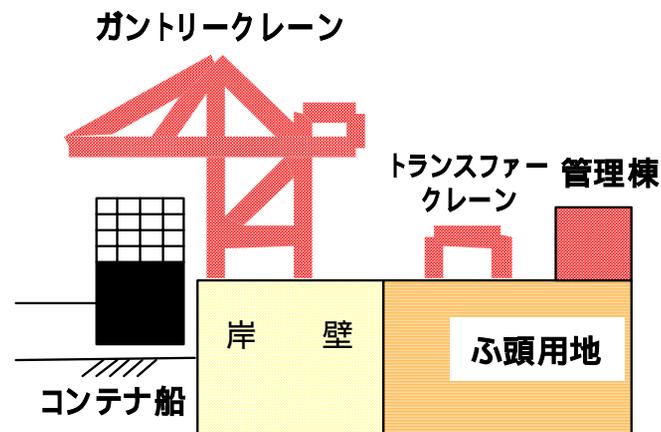


公共
 起債
 PFI



民間活力の導入

PFI方式



【北九州ひびきコンテナターミナル完成予想図】

【常陸那珂港北ふ頭
コンテナターミナル】

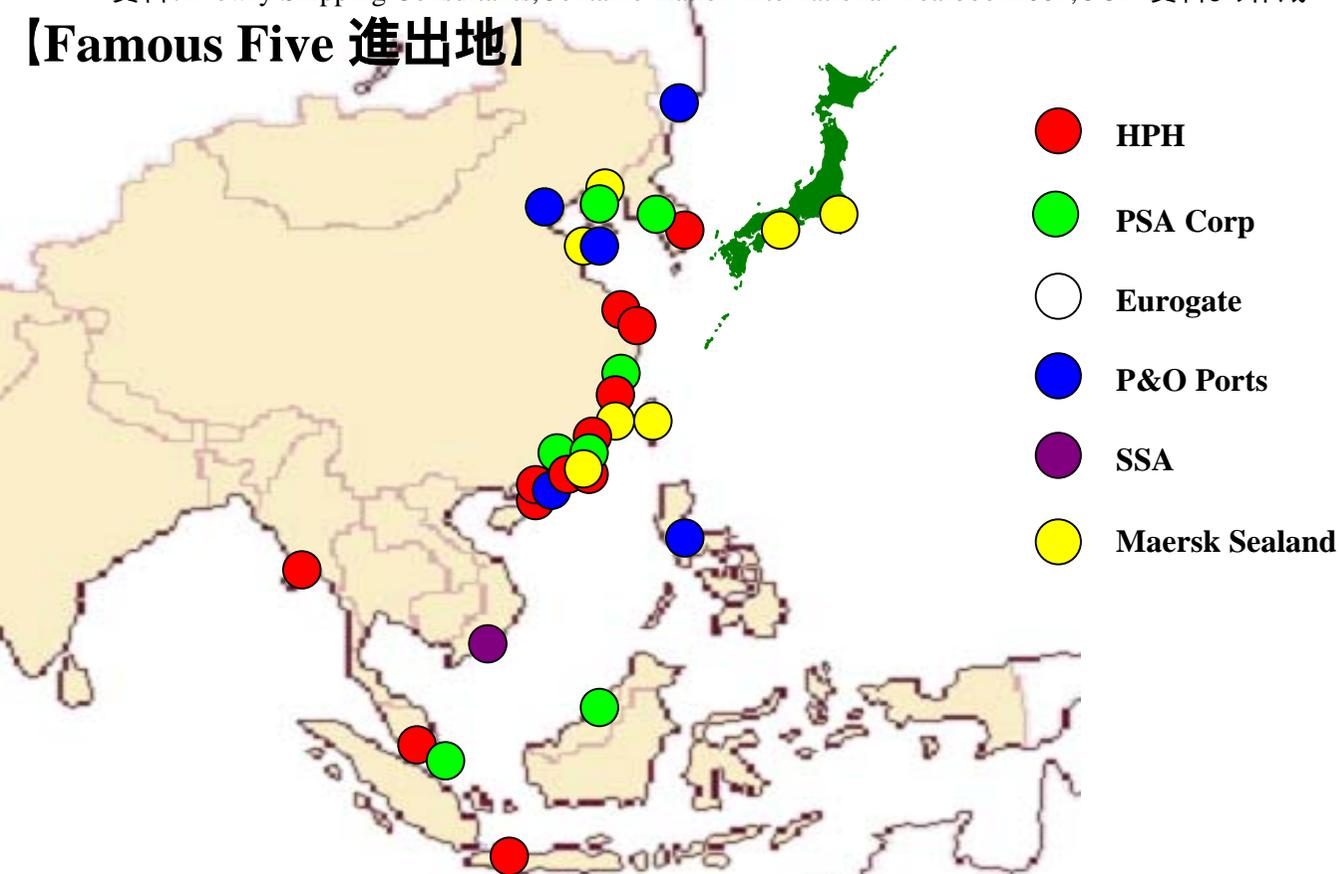
メガオペレーターの台頭

世界の大手埠頭業者とコンテナ・スループット（2000年推計）

大手埠頭業者	推定 スループット (百万TEU)	世界シェア (%)
<i>Famous Five</i>	57.3	27.8
Hutchison (Hutchison Port Holdings : HPH)	20.2	9.8
PSA	20.9	10.2
Eurogate	6.4	3.1
P&O Ports	6.2	3.0
SSA (Stevedoring Services of America)	3.6	1.7
<i>Shipping Line Terminals</i>	45.0	21.9
<i>Other Terminals</i>	103.5	50.3
<i>Total</i>	205.8	100.0

資料: Drewry Shipping Consultants, Containerization International Yearbook 2001, OCIDI資料より作成

【Famous Five 進出地】



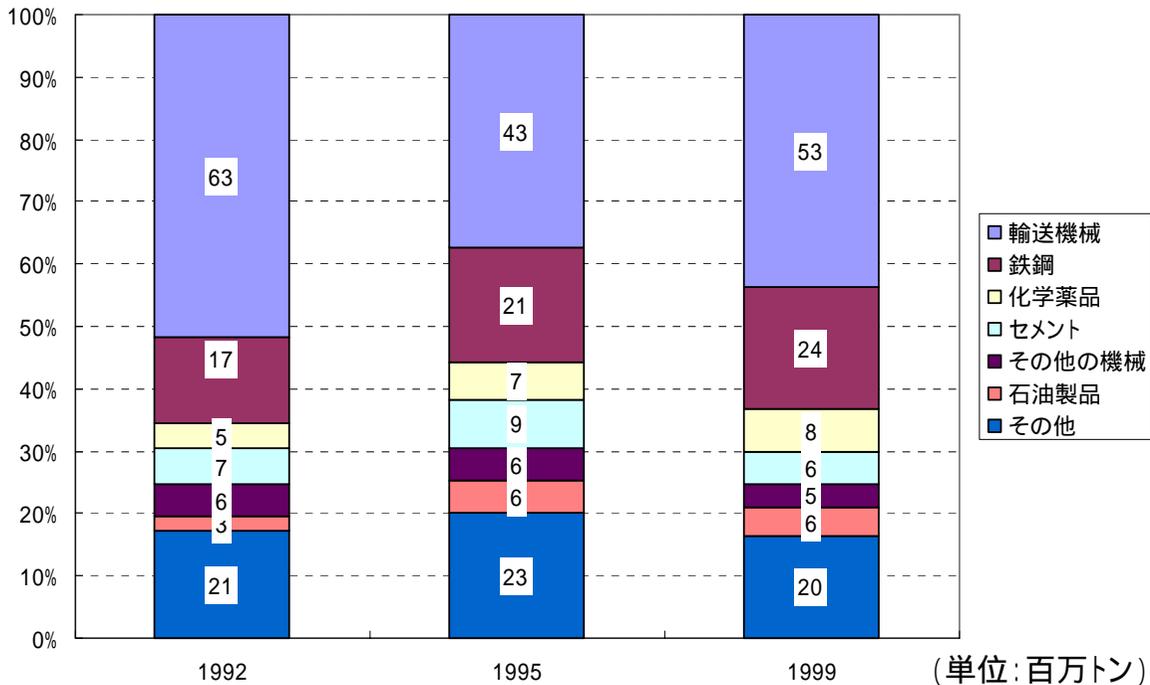
備考: ICTSIは、同社海外部門子会社IHCをHPHに売却する旨、2001年5月に公表した。

出典: OCIDI調べ

注: 本図はメガオペレーターのFamous Fiveに、世界最大の船社であるMaersk Sealand社を加えた6社について作成した。

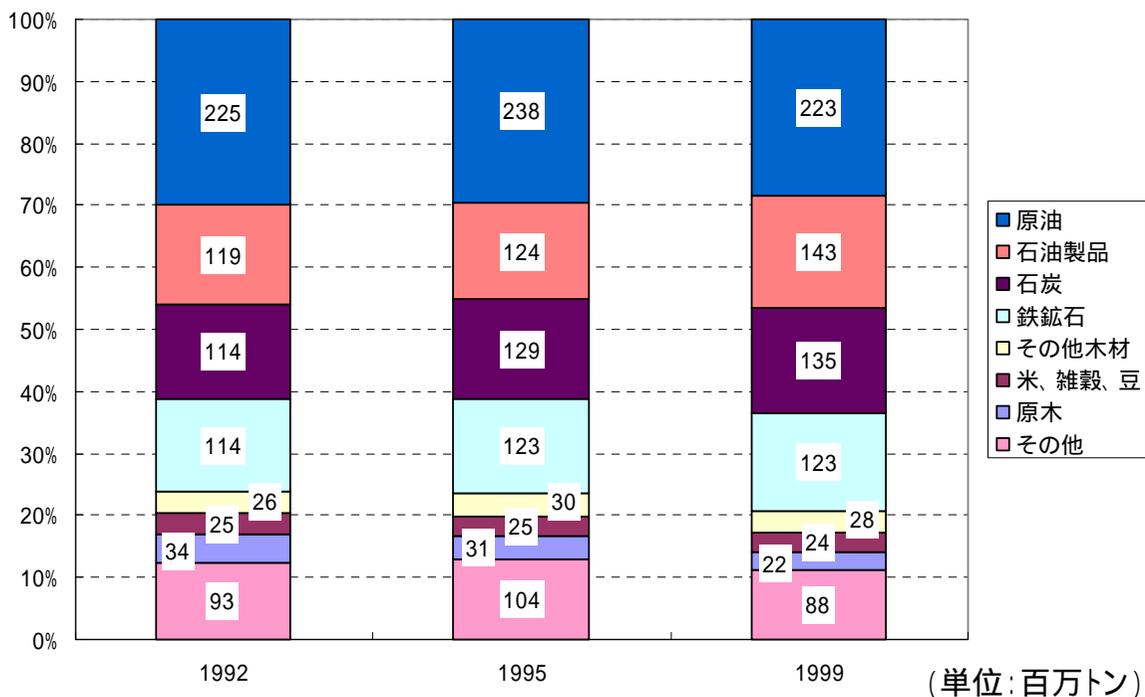
バルク貨物の品目別貨物量の推移

【輸出量上位品目】



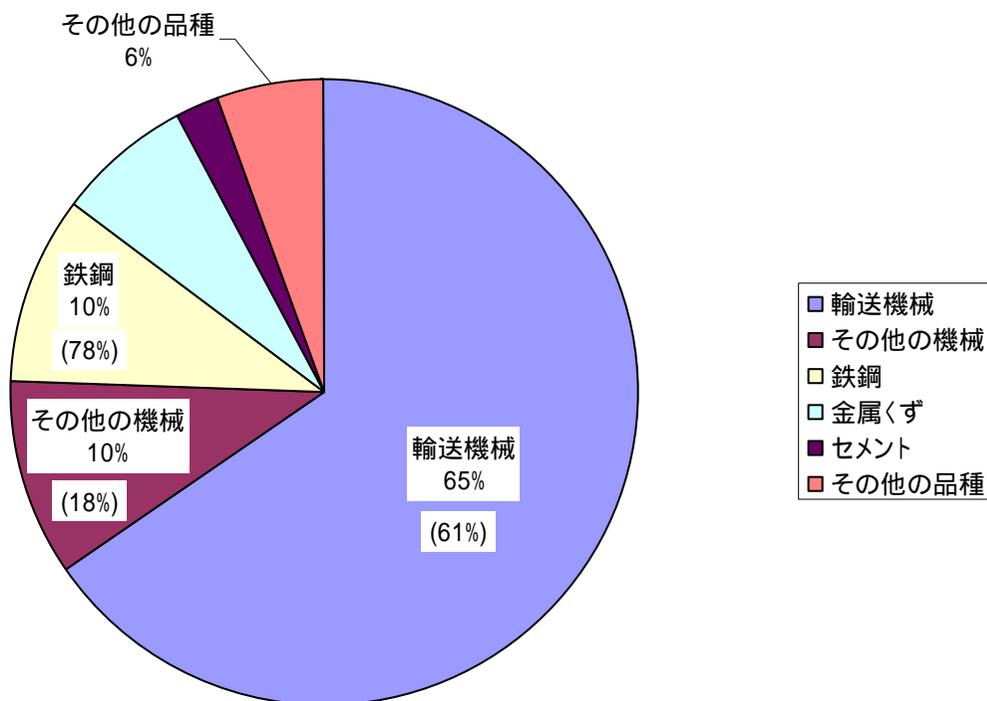
資料)「港湾統計年報」「外貿定期船貨物量一覧」

【輸入量上位品目】



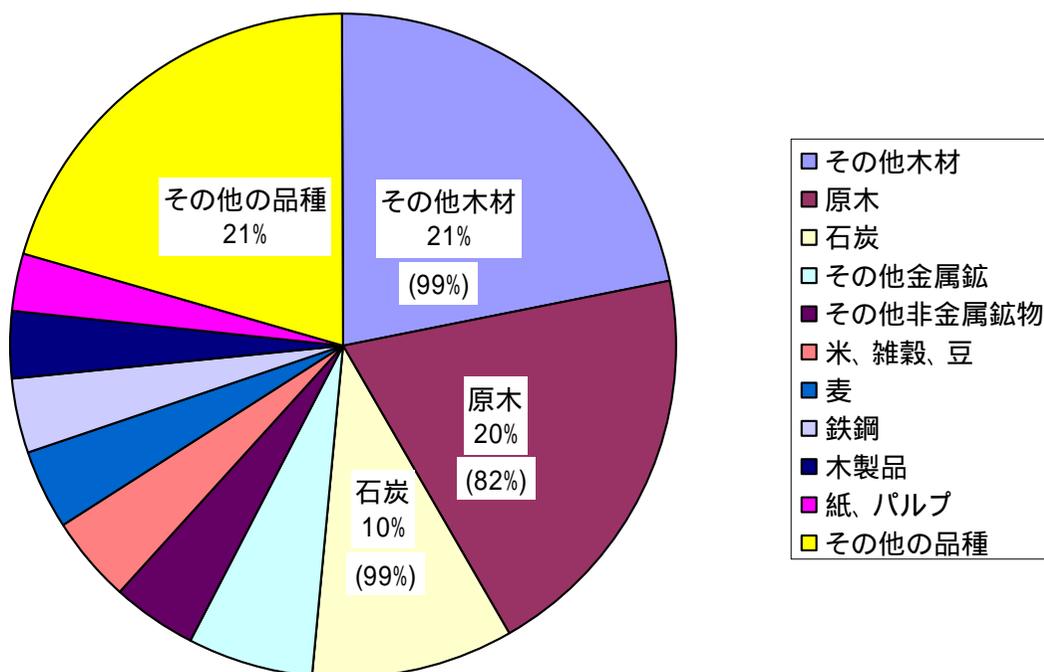
資料)「港湾統計年報」「外貿定期船貨物量一覧」

公共岸壁によるバルク貨物の輸出（1999）



注) (カッコ)内はバルク貨物量 / 全貨物量
出所: 国土交通省港湾局調べ。

公共岸壁によるバルク貨物の輸入（1999）



注) (カッコ)内はバルク貨物量 / 全貨物量
出所: 国土交通省港湾局調べ。

産業の国際競争力を支える物流産業拠点の形成

～ 木材チップの主要な輸入港湾と製紙工場の関連 ～

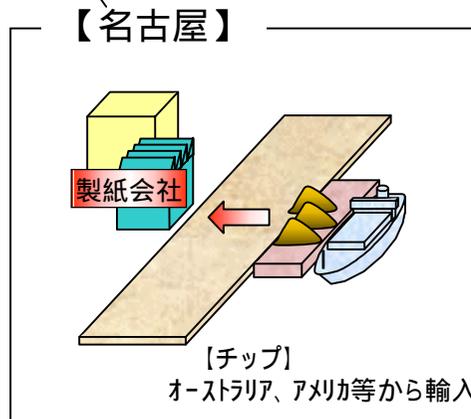
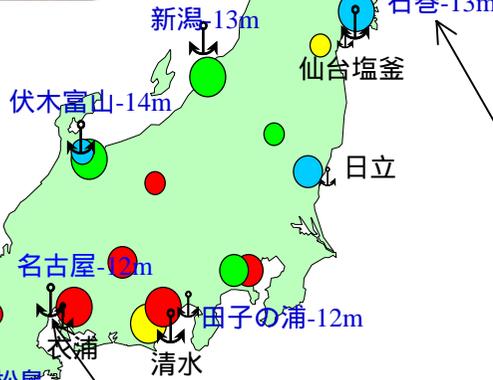
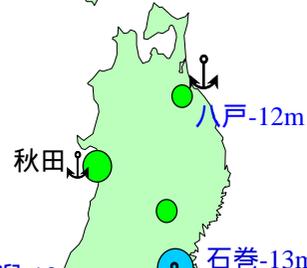
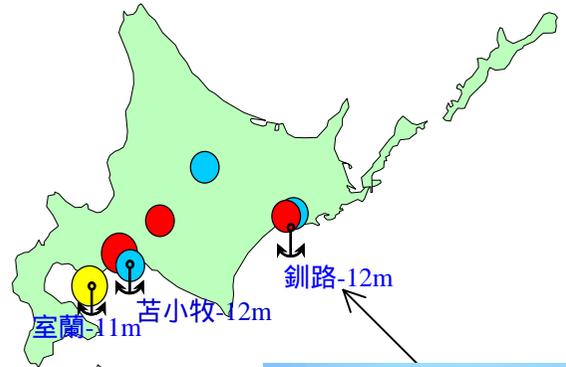
製紙工場の約9割は、臨海部に立地。

(生産能力ベース)

拠点港22港で、主要な原料となる

チップの96%以上を輸入。

CIQはすべての港で完備。

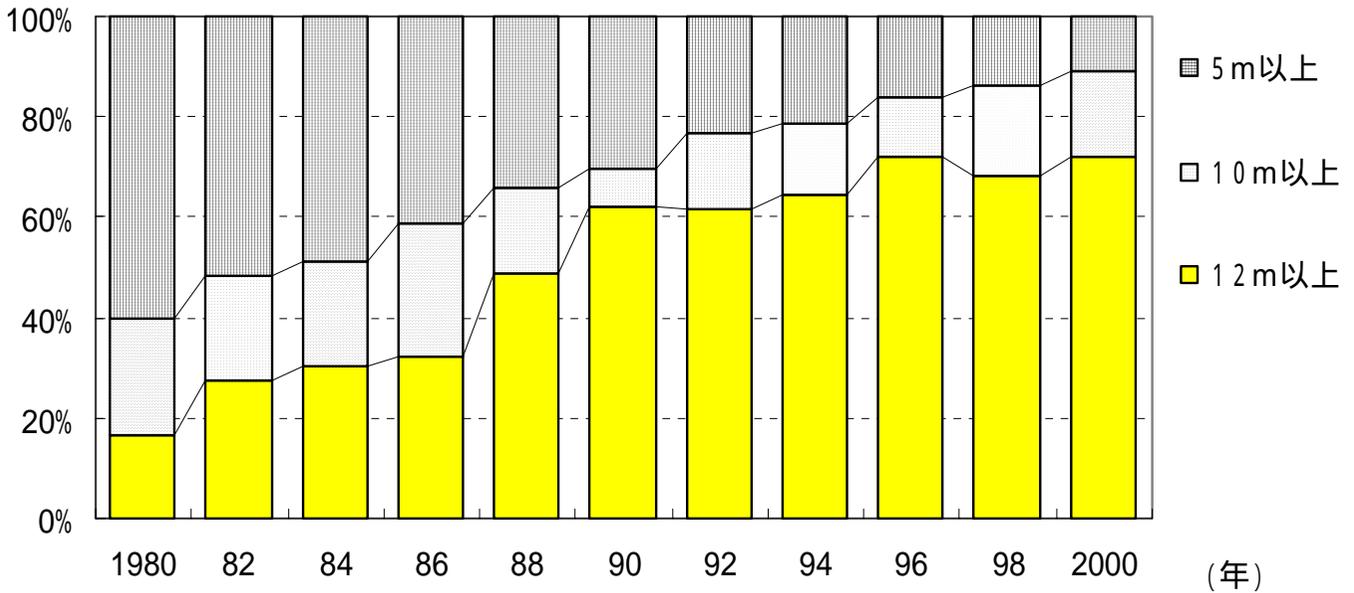


- 王子
- 日本
- 大昭和
- その他

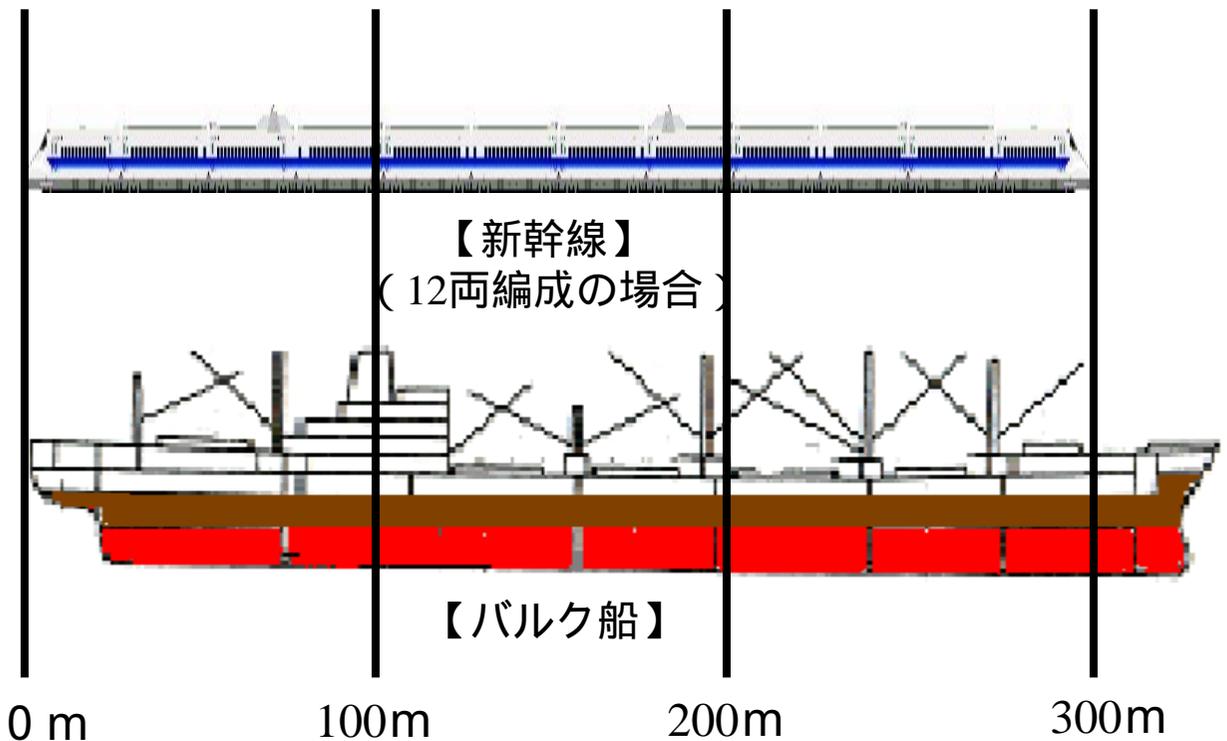
) 青字は主要岸壁(整備中を含む)

バルクキャリア船舶の大型化の動向

【バルクキャリア船の喫水動向】

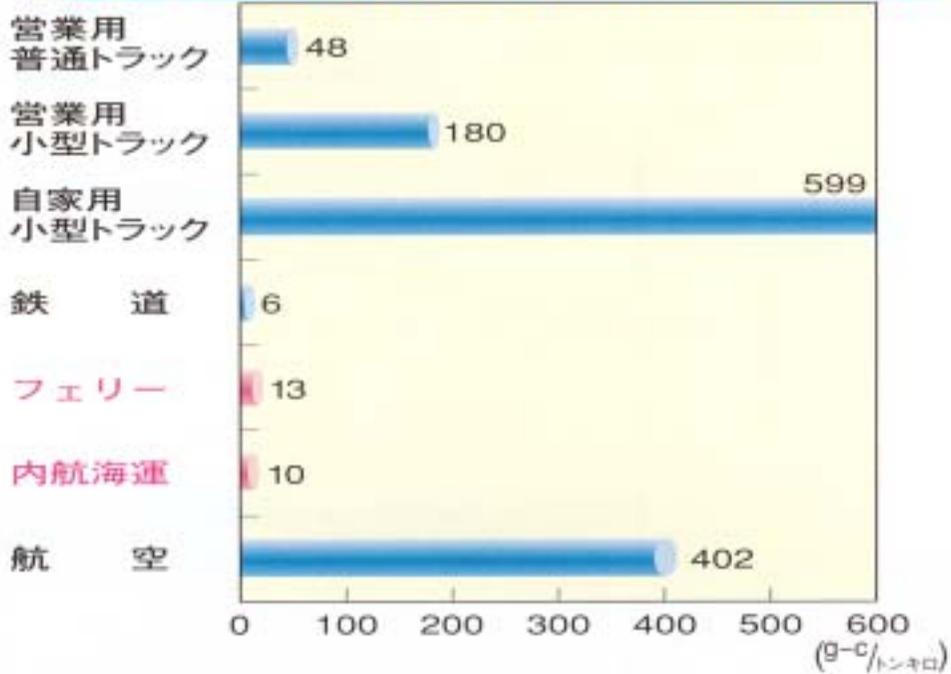


資料：日本船主協会「日本商船船腹統計2000」をもとに国土交通省港湾局作成



モーダルシフトの推進

貨物輸送機関の二酸化炭素排出原単位



- 輸送距離 500 km 以上における国内貨物輸送量の輸送機関分担率の推移 -

